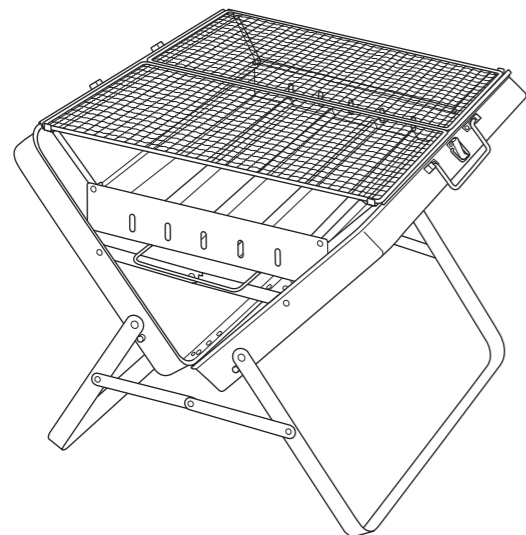




グリルアタッチXL No.81060950

この度は、本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に、この説明書をよく読んで正しく組み立ててください。また、事故やけが、器具の破損などを防ぎ、安全に正しくご使用いただくために、注意事項は必ずお守りください。この取扱説明書は、大切に保管してください。

組立て・取扱説明書



■ご使用前に

- ① パーツ類の破損、溶接外れなどがなく確認する。
(破損が見つかった場合は使用しないでください)
- ② 革手袋などを着用する。
- ③ 消火用の水をバケツなどに入れておく。

■組み立て方法

組み立て方法と注意をよく読み、下から順に組み立ててください。撤収は必ず逆順で行ってください。パーツの形状やパーツの収納位置など、実際とは若干異なる場合があります。使用する前にはしっかりと組み立てられているか、必ず確認してください。

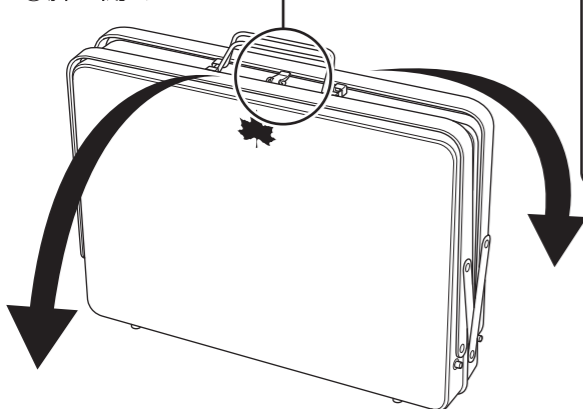


- 組み立て・使用・撤収時は、必ず革手袋を着用する。
- 組み立て・撤収時、可動部で指などを挟まないよう、注意する。

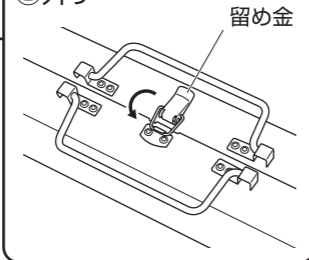
1 脚を両側に開き、留め金を外す

- 火床と焼網(2枚)は取り出す。

①脚を開く



②外す



使用上の注意

● 事故やけが、器具の損傷を防ぐため、次の事項を必ず守ってください。



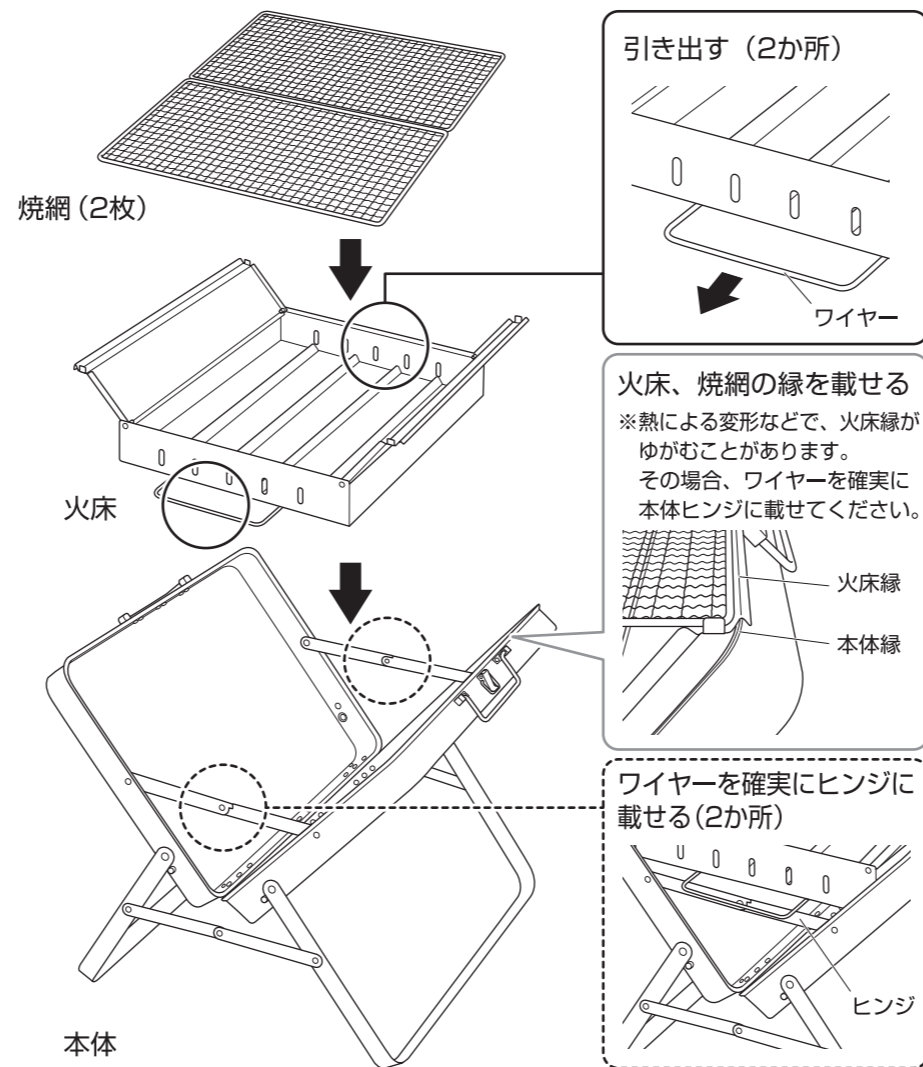
火災のおそれあり

- ジェル状の着火剤を使用する場合は、ジェルが火床の下に落ちないようにする。(火床の底に落ちると、地面にこぼれ落ちるおそれ)
- 着火剤や燃料の代わりにガソリン、灯油、ガス、アルコールなどを使用しない。
- 底から炭などがこぼれ落ちることがあるため、焦げてもよい地面に設置する。また、耐熱性テーブルなどの上に設置する場合は、本体の下に耐熱シートなどを敷く。
- 屋内やテント内、タープの下では使用しない。
- 残り火の始末や灰の処理、撤収は、完全に燃え尽きて、本体や火床が冷えたことを確認してから行う。
- 強風・雨天時は使用しない。
- 燃料を入れすぎない。(炎が高く上がったり、本体の変形・変色のおそれ)
- 起伏や傾斜がない地面に設置し、必ず安定した状態で使用する。
- 耐熱温度が低いプラスチック製のテーブルなどの上では使用しない。
- 使用済みの炭を入れたまま、持ち運ばない。

やけど、けがのおそれあり

- 着火後は、本体を移動させない。
- 着火後は、本体を絶対に素手で触らない。
- 着火後は、顔などを近づけない。また、燃えやすい物の周りで使用しない。(炭がはぜたり火の粉などが飛びおそれ)
- お子様やペットを本体の周りで遊ばせない。
- お子様には、本体の組み立てや撤収をさせない。
- 組み立て、分解、着火、消火、調理、お手入れ、片付けの際は、革手袋などを着用し、やけどや鋭利な部分でのけがなどに注意する。
- 本体に水をかけて消火しない。(急激な温度変化による破損のおそれ、また高温の水蒸気が発生し、やけどのおそれ)
- 鋭利な部分があるため洗浄時は、ゴム手袋などを着用する。
- 焼網の使用後は、付着した調理物などを取り除き、十分に乾燥させてから食用油を塗って保管する。

2 図にしたがって、下から順に組み立てる



- ヒンジが水平になるまで、本体を確実に開く。

※火床の保持について

安全上、二重の対策をとっています。次の①と②の両方、もしくは①が機能していれば、安全上問題なくご使用いただけます。

- ① 火床左右のワイヤーが本体ヒンジに載っている
- ② 火床縁が本体縁に載っている

燃料について

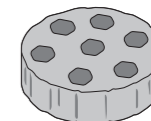


- ジェル状着火剤を使用する場合、絶対に継ぎ足ししない。(火災、やけどのおそれ)
- 使用前に、燃料のパッケージなどに記載の取扱説明書を必ず読む。

■ LOGOSエコココシリーズ(別売)を使用する

- 別売のエコココログス・ラウンドストープ2(No.83100102)のご使用をおすすめします。

- ① エコココログスを並べる
 - ・ 火床の凹凸の上に置き、底と燃料の間に空気の通り道を作る。
 - ・ 焼網をセットしたときに、燃料と焼網が接触しないようにする。



- ② エコココログスの取扱説明書にしたがって着火する

※推奨燃料「エコココログス」は、環境にやさしく、燃焼効率の良い、森林を伐採しない環境配慮型のヤシガラ成型炭です。着火剤は不要、ライターで直接着火が可能。数分でBBQがスタートできます。

■ 市販の木炭を使用する

- ① 着火剤を置く
 - ・ 火床に着火剤を置き、その上に空気の通り道を作りながら炭を積み上げる。
 - ・ ジェル状着火剤の場合は、最下部の炭の上に塗る。また、地面にこぼれ落ちていないことを確認する。
- ② 着火する
 - ・ 柄の長いライターなどで着火剤に着火する。
 - ・ ジェル状着火剤の場合、着火後には絶対に継ぎ足ししない。
- ③ すべての炭が着火状態であることを確認し、火床にまんべんなく広げる

Point

- 火床の凹凸の間に入り込むサイズの、小さい炭は使用しないでください。(火床の底と炭の間に空気の通り道がないと、うまく着火しないおそれ)
- 炭は、ところどころ二重になるくらいが適量です。
- 備長炭の場合は、着火状態の木炭の上に備長炭を置いて着火してください。備長炭は直接着火できません。
- 備長炭は着火時にはぜることがあるため、必ず焼網で覆いながら着火し、離れて様子を見てください。

- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。
- 本体や火床、焼網は、熱により変形や変色などが発生します。ご了承ください。

Designed by

LOGOS CORPORATION

発売元: 株式会社 ログス コーポレーション

〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-13
お客様専用回線 ☎0120-654-219 (受付時間: 平日10時~17時迄)

● ホームページ / www.logos.ne.jp
● 全国キャンプ場の空き情報 / www.campjo.com